

第10回理事会 議事録

一般社団法人 尾道青年会議所
2020年度 第10回理事会 議事録

日時：2020年10月 6日（火）19：00～

場所：尾道国際ホテル

(出席者)

加度 亮平、中谷 純也、今岡 正英、政成 啓行、大西 貴明、岡本 大輔、池田 知和、沼田 剛志、
岡田 貴臣、小川 直紀、大本 誠、高橋 洋樹、大前 慶倫、高山 敦好、小林 暢玄、山本 圭介、
岡田 健吾、高橋 建太、中司 昌克、吉田 嵩正、藤田 祐輔、大池 慎三

(オブザーバー)

内海 洋平、岡本 正也、小西 琢真、山本 恭平

(欠席者)

山北 真也、川崎 耕平

(早退)

1. 開会
2. 点鐘
3. JCI クリド唱和 岡田 貴臣
4. JCI ミッション並びにJCI ビジョン唱和 池田 知和
5. JCI 宣言文朗読並びに綱領唱和 小林 暢玄
6. 出席者の確認：藤田理事・セクレタリーより
理事20名、監事1名、セクレタリー1名、オブザーバー4名
7. 配布資料の確認：高橋専務理事より
第10回理事会資料はメールにて配信
8. 議事録署名人並びに議事録作成者の指名：加度理事長より
議事録署名人：中谷監事
議事録作成：事務局
9. 議題の確認：高橋専務理事より
(審議事項)
第1号議案 例会・総会の設営及び運営（定時総会）事業報告（案）に関する件
第2号議案 新理事研修 事業報告（案）決算（案）に関する件
第3号議案 新入会員ガイダンスの調査・研究・実践 事業報告（案）決算（案）に関する件
第4号議案 会員拡大の調査・研究・実践（2020年度仮入会員審査）事業計画（案）
に関する件

第10回理事会 議事録

- 第 5号議案 地域と協働する防災教育啓蒙活動の調査・研究・実践 事業計画（案）
予算（案）に関する件
- 第 6号議案 10月例会 事業計画（案）予算（案）に関する件
- 第 7号議案 例会・総会の設営及び運営（11月例会時間の変更）事業計画（案）
に関する件
- 第 8号議案 例会・総会の設営及び運営（11月臨時総会）事業計画（案）に関する件
- 第 9号議案 11月例会 事業計画（案）予算（案）に関する件
- 第10号議案 その他は案件がないことを確認し、削除

（協議事項）

- 第 1号議案 2020年代活動指針作成 事業計画（案）について
- 第 2号議案 豊かな人材育成事業の調査・研究・実践 事業計画（案）予算（案）について
- 第 3号議案 真のしあわせを知る経営者育成 事業計画（案）予算（案）について
- 第 4号議案 その他は案件がないことを確認し、削除

（報告依頼事項）

- 第 1号議案 尾道の伝統文化の調査・研究・実践について
- 第 2号議案 その他は案件がないことを確認し、削除

以上の結果、上記13議案にて本会を進行する事とした。

10. 理事長挨拶

（加度 亮平）

皆さんこんばんは。本日も第10回理事会にご参加頂き、ありがとうございます。いよいよ私たちの活動も残り3カ月を切り、最終局面を迎えております。本年度はコロナの影響で事業がなかなか実施出来なかったですが、皆さんの頑張りにより、これから事業がドンドン実施されていきます。高山委員会の2020年代活動指針の策定と尾道花火プロジェクトも始まります。花火プロジェクトに関しては、尾道青年会議所初のクラウドファンディングを使った事業です。寄付金もJC関係者の協力もありましたが、約380万円もの金額が集まっています。また、本日の理事会での承認になりますが、高橋委員長の頑張りで8名の新入会員を迎える事が出来そうです。入会を断る理由や拡大活動がしにくいこの状況化で、8名の確保は本当にすごいことだと思います。例年を振り返ってみると、この時期に事業が集中しますし、拡大も例年と引けを取らない拡大数となっており、半年ほど活動が停止していた状況に加え、活動のやり方も大きく変えざるを得なかった状況を鑑みると、本当に凄いいことだと思います。あと少し、この頑張りを受け、本来の目的を達成できるように、今一度メンバーを巻き込んで活動を展開して行って頂きたいと思っております。それでは、本日も新しい事業の上程があります。是非とも理事の皆さんの忌憚なき意見で、より素晴らしい事業になるように一丸となってやっていきましょう。本日は長丁場になるかもしれませんが、どうぞよろしくお願ひします。

11. 直前理事長挨拶

欠席の為、割愛

12. 理事長報告

資料にて確認

13. 委員会報告

資料にて確認

14. 審議事項

第1号議案 例会・総会の設営及び運営（定時総会）事業報告（案）に関する件

（加 度）大西副理事長よろしくお願ひ致します。

（大 西）山本委員長よろしくお願ひ致します。

（山本圭）※資料参照

（加 度）大西副理事長補足は御座いますか。

（大 西）特に御座いません。

（加 度）こちらの件に対してご質問ご意見等ある方は、よろしくお願ひ致します。

（小 川）10%の委任状の未提出はコロナウイルスの影響があったのでしょうか。

（山本圭）出席のお願いの連絡した際に、この状況下の中では、難しいとの回答もありましたのでコロナウイルスの影響が強かったと考えております。

※全会一致で承認可決

第2号議案 新理事研修 事業報告（案）決算（案）に関する件

（加 度）大西副理事長よろしくお願ひ致します。

（大 西）山本委員長よろしくお願ひ致します。

（山本圭）※資料参照

（加 度）大西副理事長補足は御座いますか。

（大 西）特に御座いません。

（加 度）こちらの件に対してご質問ご意見等ある方は、よろしくお願ひ致します。

※全会一致で承認可決

第3号議案 新入会員ガイダンスの調査・研究・実践 事業報告（案）決算（案）に関する件

（加 度）政成副理事長よろしくお願ひ致します。

（政 成）高橋委員長よろしくお願ひ致します。

（高橋洋）※資料参照

（加 度）政成副理事長補足は御座いますか。

（政 成）予算、決算の説明をお願ひ致します。

（高橋洋）※資料参照

（加 度）こちらの件に対してご質問ご意見等ある方は、よろしくお願ひ致します。

（高 山）目的を達成したと判断される、アンケートはありましたか。

（高橋洋）JC活動における仕事、家族への影響をメンバーの色々な立場から説明して、JC活

動に対して、不安を取り除くことができ、前向きに活動が出来る環境が作れたのではないかと考えております。

※全会一致で承認可決

第 4号議案 会員拡大の調査・研究・実践（2020年度仮入会員審査）事業計画（案）
に関する件

（加 度）政成副理事長よろしくお願い致します。

（政 成）高橋委員長よろしくお願い致します。

（高橋洋）※資料参照

（高橋洋）それでは、安保君の副推薦の高橋専務理事より推薦の弁をお願い致します。

（高橋建）安保大輔さんの推薦をさせていただきます。安保さんは、海岸通りにある株式会社安保商店に勤務されています。シニアクラブ会長である、安保雅文先輩のご子息であります。青年経済人として、品格ある青年でありますので、彼を推薦させていただきます。宜しくお願い致します。

（高橋洋）ありがとうございました。続いて田井君の主推薦の大前副委員長お願い致します。

（大 前）田井さんですが、参加率も高く、大変まじめな方です。尾道青年会議所活動にも賛同して頂き、入会の意志を示して頂いていますので推薦します。

（高橋洋）ありがとうございました。続いて高垣悟君の副推薦の岡本正也委員お願い致します。

（岡本正）高垣悟君は高垣デンキ産業という電化製品の小売りや施工をやっています。年齢も28歳とまだ若く、物怖じしない性格でしっかり自分の意見を持ち、尾道の活性化の為の活動を積極的に行いたいとお話をしております。入会の意志を示して頂いていますので推薦します。

（高橋洋）ありがとうございました。続いて高垣裕吉君の主推薦の小川委員長お願いします。

（小 川）高垣裕吉君は、御調で、高垣瓦工業所で瓦に携わっております。もともと、スポーツでも元国体選手ということで、しっかり自分を持っている青年であると思いますので、推薦したいと思います。

（高橋洋）ありがとうございました。続いて中川君の主推薦の岡本委員長お願いします。

（岡本大）中川裕智君ですが、現在35歳で、勤務先は中川商店で、鉄関係の仕事をされております。当委員会の吉田委員と懇意にされており、私とは小学校からの親友であります。今年は仮入会ながら、多くの活動に参加して頂き、非常に積極的な人材です。明るく友達思いで、青年経済人として品格のある青年だと思いますので、推薦させていただきます。

（高橋洋）ありがとうございました。続いて延安君の主推薦の高山委員長お願いします。

（高 山）延安孝文君は、御調町出身で、私の幼馴染の弟であります。現在、Nエージェンシーの経営者として尽力されております。ゴルフや旅行の斡旋を行っているフットワークの軽い青年ですので、推薦させていただきます。

（高橋洋）ありがとうございました。続いて福島君の副推薦の大池セクレタリーお願いします。

第10回理事会 議事録

- (大 池) 福島侑君ですが、株式会社MATCHにお勤めで、人材派遣業務を行っております。青年経済人として、社会的、経済的、文化的に活動されている方ですので、推薦させていただきます。
- (高橋洋) ありがとうございました。続いて森田君の主推薦の山本委員長お願いします。
- (山本圭) 森田洋一郎君は、森田会計に勤務されておまして、当社のほうでも大変お世話になっております。とても仕事熱心で、真面目かつ誠実な青年でありますので、今後期待できる方だと思いますので、推薦いたします。
- (加 度) 政成副理事長補足は御座いますか。
- (政 成) まず8名の仮入会員候補生が獲得できました。会員拡大委員会のメンバーをはじめ、全メンバーにご協力いただいた結果だと思いますので、慎重に審査して頂きたいと思います。審査は三択になります。「否」の方が2名以上出ましたら、否決となります。理事の皆様は本当に責任のある議決であることを自覚して頂き、公平な審査を行っていただきますよう、お願い致します。
- (中 谷) 仮入会審査の結果を公表させていただきます。出席理事数20名、8名の仮入会候補者全員が可決となりました。以上です。
- (加 度) 中谷監事よりご報告がありました。以上でこの議案を閉じさせていただきます

第 5号議案 地域と協働する防災教育啓蒙活動の調査・研究・実践 事業計画(案) 予算(案) に関する件

- (加 度) 政成副理事長よろしくお願い致します。
- (政 成) 小川委員長よろしくお願い致します。
- (小 川) ※資料参照
- (加 度) 政成副理事長補足は御座いますか。
- (政 成) 特に御座いません。
- (加 度) こちらの件に対してご質問ご意見等ある方は、よろしくお願い致します。
- (大 前) 実施を予定されている小学校はどちらでしょうか。
- (小 川) 授業の実施先として事前に了承を得ていますは、因島南小学校、因北小学校、日比碕小学校、西藤小学校となっております。審議可決後、各学校に配布しに行きますのでその際に希望が増える可能性も御座います。
- (大 前) 次年度以降の委員会で、学校での授業をする可能性もありますので、次年度に引き継げるよう頑張ってくださいと思います。
- (高 山) アンケートの回収率の目標はありますか。
- (小 川) 明確な数字は設けていませんが、できるだけ多くのアンケートを回収できるよう各小学校に訪問する際にはお願いをして、100%を目指せるよう頑張っていきたいと思っております。
- (高 山) 是非、子供達や、親御さんや先生が感動できるような事業にして頂きたいと思っております。
- (岡田貴) 低学年向けと高学年向けでの授業の内容の違いでの工夫はありますか。

第10回理事会 議事録

- (小 川) 低学年向けは、知識というよりは災害が起きた際のいいところや怖い所等イメージしやすい設問を多く入れております。高学年用は具体的に踏み込んだ知識を入れていております。子供たちの発達段階において、内容の指導を受けましてそういった要素を入れております。
- (岡田貴) 特に1年生等の低学年では45分という時間はあっという間に過ぎてしまい目的に達せないこともありますので、場の雰囲気作り方を工夫されてはと思います。高学年に対しては是非踏み込んだ内容にして頂ければと思います。
- (高橋洋) 授業を実施すると、子供たちが色々なことを吸収して持って帰れると思います。是非とも学びのあるいい授業にして頂ければと思います。
- (加 度) 家庭に持ち帰って、親御さんと考えることが大切になってくる事業だと思しますので、アンケートの回収率にこだわりを持って頂いて、少しでも回収率を上げられるよう宜しくお願い致します。

※全会一致で承認可決

第 6号議案 10月例会 事業計画(案) 予算(案)に関する件

- (加 度) 今岡副理事長よろしくお願ひ致します。
- (今 岡) 沼田委員長よろしくお願ひ致します。
- (沼 田) ※資料参照
- (加 度) 今岡副理事長補足は御座いますか。
- (今 岡) 特に御座いません。
- (加 度) こちらの件に対してご質問ご意見等ある方は、よろしくお願ひ致します。
- (高 山) グループワークをする際に何か書くもの、用紙等が必要だと思いますので、プロフィールの用紙等にメモが書ける様なものにして頂ければと思います。
- (大 本) グループワークのイメージ、流れを説明してください。
- (沼 田) 講師の先生が、実際に扱われた事例、その会社等に関する情報を説明頂いて、その会社がどういう状況下で、売り上げを上げていくかということを、グループで話し合い、結論を出すという流れとなっております。
- (大 前) 服装はクールビズよろしいでしょうか。
- (加 度) ブロック運営団の方とも協議しまして、10月例会での服装はクールビズとしております。
- (岡田健) ZOOMとのハイブリットで例会を行いますが、ZOOMの参加者たちへの配布資料の方法の記載がありませんので、ZOOMの機能で、チャット形式での資料配布で対応できますので、そちらの対応でよろしくお願ひ致します。

※全会一致で承認可決

第 7号議案 例会・総会の設営及び運営(11月例会時間の変更) 事業計画(案)に関する件

第10回理事会 議事録

(加 度) 大西副理事長よろしくお願ひ致します。

(大 西) 山本委員長よろしくお願ひ致します。

(山本圭) ※資料参照

(加 度) 大西副理事長補足は御座いますか。

(大 西) 特に御座いません。

(加 度) こちらの件に対してご質問ご意見等ある方は、よろしくお願ひ致します。

※全会一致で承認可決

第 8号議案 例会・総会の設営及び運営（11月臨時総会）事業計画（案）に関する件

(加 度) 大西副理事長よろしくお願ひ致します。

(大 西) 山本委員長よろしくお願ひ致します。

(山本圭) ※資料参照

(加 度) 大西副理事長補足は御座いますか。

(大 西) 特に御座いません。

(加 度) こちらの件に対してご質問ご意見等ある方は、よろしくお願ひ致します。

(小 林) 新入会員への周知徹底のお願ひとありましたが、新入会員とは今年度の新入会員の方でしょうか。

(山本圭) 今年度の仮入会員の方と考えております。

(小 林) 11月6日の理事会で新入会員の審査で承認をしますので、会員資格が発生し、定款上、議決権が発生すると思います。新入会員の方の委任状の提出等のケアを、高橋委員長、推薦者の方からフォローをお願いします。

(大 西) 新入会員の方も11月の臨時総会では、定款上議決権ありとなりますので、参加人数を親友会員も含めた77名と訂正をお願い致します。

(高 山) 2020年代の活動指針策定の時間は何分の予定ですか。

(山本圭) 総会の全体の時間を30分取っておりますので、議案に関する時間は、多少多めにありますので宜しくお願ひ致します。

※全会一致で承認可決

第 9号議案 11月例会 事業計画（案）予算（案）に関する件

(加 度) 政成副理事長よろしくお願ひ致します。

(政 成) 小川委員長よろしくお願ひ致します。

(小 川) ※資料参照

(加 度) 政成副理事長補足は御座いますか。

(政 成) 特に御座いません。

(加 度) こちらの件に対してご質問ご意見等ある方は、よろしくお願ひ致します。

(高 山) 高橋委員長の独演会ということで、間延びすることなく、タイムスケジュールを守っ

てしっかりと実施して頂きたいと思います。

※全会一致で承認可決

15. 協議事項

第1号議案 2020年代活動指針作成 事業計画（案）について

（加 度）大西副理事長よろしくお願ひ致します。

（大 西）高山委員長よろしくお願ひ致します。

（高 山）※資料参照

（加 度）大西副理事長補足は御座いますか。

（大 西）特に御座いません。

（加 度）こちらの議案に対してご質問ご意見等ある方は、よろしくお願ひ致します。

（岡田貴）「背伸び・背伸び・背伸び」の部分で、背伸びのとらえ方がこの表現で端的に語呂として伝わるか疑問に思ひます。JC活動を背伸びしてやるのか、普段の活動から背伸びをしてチャレンジするとらえ方なのか、と思ひますので、委員会内でどんな意見が出たか教えて頂きたいと思ひます。

（高 山）委員会内では、チャレンジをして取り組む危害を持つという意味で、「背伸び・背伸び・背伸び」の表現として思ひます。自身が背伸びして取り組んだ時に、非常に有意義な時間が取れるのではないかと思ひましたので、この文章を入れておひます。また、拡大に関して、入会を人に勧めることができないというアンケート結果も出でおひまして、人にいいと思ひたら勧めようという気概も2020年代は持っていきながら、拡大にも取り組んでいかなければならないのではないかとこのことも踏まえまして、表現的に引かかるかもしれませんが、10年間これをもとに活動していつてもらいたいという思ひで、この表現としておひます。JCに所属しているからには奉仕の団体ですので、こちらの表現とさせておひます。

（岡田貴）活動指針の修正、変更の可能性はありますか。

（高 山）意見を反映させて、変えるべきところは、委員会内で検討したいと考えておひます。

（岡田貴）「背伸び」という表記の部分で、単刀直入にチャレンジや挑戦を色濃く表現できるような表記に変えて頂いてもよいかと思ひます。

（小 川）アンケート結果でもありましたが、多くの方がJCに入ってよかったと結果が出ておひます。少し反対意見も出ておひますが、今後活動していく上で、前向きにとらえやすいような要素がありましたら説明して頂ければと思ひます。

（高 山）JCマンとしての活動指針ですので、リーダーの資質、JCの信念等を考えながら行動できる人間でなければならぬと思ひますし、厳しい内容もあると思ひますが、組織にいる以上は強制的にやらなければならぬ部分もあると思ひます。活動に対して無理してもやらないといけない部分は家庭や仕事にもあると思ひますので、そんな気概を持った指針にして頂きたいと思ひます。

（高橋洋）今後10年活動する指針だと思ひますので、今後10年JCの組織がどうなっていく

第10回理事会 議事録

たいか、高山委員長の思いを教えてください。

(高山) 全国的に会員数が減っているということは皆様ご承知のことだと思います。会員数が減る理由をしっかりとらえて、意味のある組織にしていかなければならないと思います。会員数が減ってしまうと尾道JCとしても栄えていきませんし、拡大に関しても、今一度前向きに取り組んでいただける様な10年にして頂ければと思います。またアンケートの中では、入会してよかったが、人に勧めないという意見も出ております。そういったスマートな会になっていっているともいますので、もう少し楽しめる部分、みんなで頑張っていくが2030年に向けて、構築されていってほしいと考えております。

(山本圭) 認知する方法として、例会会場等の掲示はどれくらいの頻度でどの委員会が対応しますか。

(高山) 例会の受付の場所に毎年総務広報委員会に掲載して頂くのと、事務局への掲示や、JC手帳への記載を次年度の総務委員長と調整して考えております。

(小西) 「背伸び」という言葉について、自分が頑張れるよう自分に鞭打つような思いが、込められているのではないかと思います。また、SDGsを活動指針として入れた場合、今後の事業の中で、SDGsを事業に絡めて頂きたいという思いがあるのでしょうか。

(高山) 自分が考えていることだけでなく、自分が考えていないことをやる際に、自己の成長につながると思いますので、未知の世界に挑戦することや、背伸びしてやる気概を持って活動しようということを踏まえて、「背伸び」という表現に思いを込めています。またSDGsに関しては、これから先2030年に向けてJCも方向が変わってくる可能性もあります。今後の議案書作成の中で、広島ブロック等はSDGsに関する記載があります。今後SDGsに関する記載をすることになれば、その年で変えていく必要もあると思いますので、「SDGsも活用し」という表記にしております。

(岡本大) 「存在意義」の部分で、我々が尾道の社会のほうに向けて活動しているのか、尾道の人に対して活動しているのか、我々がどちらの方向を向いて活動しているのか、方向性を記載してもいいのではないのでしょうか。

※第1号議案を閉じる

第2号議案 豊かな人材育成事業の調査・研究・実践 事業計画(案) 予算(案)について

(加度) 今岡副理事長よろしくお願ひ致します。

(今岡) 沼田委員長よろしくお願ひ致します。

(沼田) ※資料参照

(加度) 今岡副理事長補足は御座いますか。

(今岡) チラシの作成が間に合いませんでしたので、チラシの作成が完了しましたら、後日配信させて頂きたと思いますので宜しくお願ひ致します。

(加度) こちらの議案に対してご質問ご意見等ある方は、よろしくお願ひ致します。

第10回理事会 議事録

- (山本圭) バルーンを作成している際や上げる際の、場を盛り上げる工夫はありますか。
- (沼田) 盛り上げる工夫として、当日司会の方に来ていただいて、作成している際は司会の方からインタビューを行う等予定しております。バルーンを上げる際にも、司会の方に盛大に盛り上げて頂こうと考えております。
- (高山) 卒業する生徒に対しての事業となっておりますが、中学生3年生も卒業を迎えますが、小学6年生を対象にした理由は。
- (沼田) 小学生にした理由は、中学生よりも多感な時期を迎えている、吸収力の高い小学6年生を対象としたほうが、豊かな心の育成につながるのではないかと考えまして、対象を小学6年生としております。
- (高山) 小学生時の6年間はかなり長い時間ですので、小学校6年間の積み重ね等を表現できれば、思い出に残る事業となると思いますので、工夫して頂ければと思います。
- (高山) 目的を達成できたかという判断基準は。
- (沼田) アンケート等の実施は計画しておりませんので、一番の判断基準は子供たちの笑顔をどれだけ作れたか、どれくらい思い出に残ったかと考えております。
- (高山) 事業が終わったとのフォローも再考して頂いて、参加できない方もいらっしゃると思いますので工夫して頂けたらと思います。
- (大前) ドローンの予算は。
- (沼田) 岡田副委員長がお持ちとのことで貸して頂く旨の了承を得ております。
- (高橋洋) 全体事業になると思いますので、子供たちにいい思い出をつくれる様な事業として頂きたいと思います。
- (大本) バルーンを飛ばすことに決めた熱い思いをお聞かせいただければと思います。
- (沼田) 小学生にバルーンに思いを込めてもらって、思いが詰まったバルーンを1200個一斉に上げることで、壮大なものになりますので、子供たちの記憶に残る事業になると確信しております。
- (池田) 1200人の子供たちを集めての誘導は大丈夫でしょうか。
- (沼田) 安全管理を徹底していく中で、メンバーの方にはご協力を頂きたいと考えております。周辺の苦情等もあると思いますので、スピーカー等の設置も慎重に検討していこうと思います。
- (山本恭) 当日の中止の判断基準は。
- (沼田) 雨天の場合は中止と考えております。実施の2日前に雨天予報だった場合、中止と判断し、各小学校に案内を流したいと考えております。
- (高橋洋) バルーンを作成等の、タイムスケジュールは問題ないですか。
- (沼田) 小学6年生の出席者数をとってみないとわからない部分もありますが、メンバーの皆様にご協力いただければ、可能であると考えております。
- (高橋洋) 準備の開始時間を前倒し、又はバルーンを上げる時間の変更はありますか。
- (沼田) 1200個バルーンをふくらますのに、想定で90分かかると認識しております。準備時間が適正か委員会内で再度検討したいと思います。
- (高橋洋) バルーンリリースが一番の目玉になると思いますので、バルーンリリースの時間を決

第10回理事会 議事録

めて守って、頂ければと思います。

(小 林) 1200人全員が一斉に参加されると緑地帯や、駐車場棟でパンクする恐れがあります。また、メッセージカードは事前に配布して書いてもらうので、テントの設置が必要ですか。また、案内文にメッセージカードを同封する実施手順に関しても、委員会内で精査して検討して頂ければと思います。

(加 度) 背景と目的に関して、豊かな人材育成委員会として出来る内容の背景と目的を記載して頂ければと思います。

※第2号議案を閉じる

第 3号議案 真のしあわせを知る経営者育成 事業計画(案) 予算(案)について

(加 度) 今岡副理事長よろしくお願ひ致します。

(今 岡) 岡本委員長よろしくお願ひ致します。

(岡本大) ※資料参照

(加 度) 今岡副理事長補足は御座いますか。

(今 岡) 特に御座いません。

(加 度) こちらの議案に対してご質問ご意見等ある方は、よろしくお願ひ致します。

(小 川) 子供たちは喜ぶ事業と考えますが、車を使つての訪問となると思いますが、車のデコレーション等の設えはありますか。

(岡本大) 最大人数を考えますと難しく、シンプルに進めていかないと3時間の中に納まりませんので、車のデコレーション等は省かして頂こうと考えております。

(沼 田) 車の移動ということで、近隣の方にご迷惑が掛からないようにして頂ければと考えてります。

(山本圭) 各家庭内での体調不良等の情報の収集の仕方は。

(岡本大) 審議可決後アンケートを実施して、訪問時間を詳細に決めていきたいと思ひます。必ず先取りの予定を電話連絡にて行ひます。

(高 山) 議案を事業ではなくクリスマス会としては如何でしょうか。真のしあわせを知る経営者育成事業として、この事業を選定した理由は。

(岡本大) この状況下の中、メンバーの仕事や家庭の状況がわからない中で、プレゼントに関しては会からすべて支出したいと考えております。その中で、クリスマス会の事業予算では予算が足りませんでした。今できる範囲で考えた時に、この事業を選定しました。

(高橋洋) 配達が入り合った場合等、急ぐことも出てくると思ひますので、事故等を起こさず幸せを届けて頂ければと思ひます。

(岡本大) 補足になりますが、本事業では、会からプレゼントをすることになりますが、個人的にお子様へのプレゼントがございましたら、当日サンタがお届けしようと考えております。訪問時間に関しましては、迷惑も掛かりにくい時間内で約3分とさせて頂いております。子供たちが必ず笑顔になる事業だと確信しておりますので、皆様是非この

第10回理事会 議事録

事業に参加して頂ければと思います。

(大 本) 予算に関して、サンタの衣装に関して4万円計上されていますがレンタル等は如何でしょうか。

(岡本大) 審議可決後のレンタルの確約となりますので、その際はない可能性もありますので購入という形にしました。

(内 海) 親族への配達等は可能でしょうか。

(岡本大) 基本的には全員の会費を使ってする事業ですので、メンバーの皆様に公平になる様に親族等への配達等に関しましては、委員会内で検討します。

※第3号議案を閉じる

16. 報告依頼事項

第 1号議案 尾道の伝統文化の調査・研究・実践について

(高橋建) 小川委員長よろしくお願い致します。

(小 川) ※資料参照

(高橋建) こちらの議案に対してご質問ご意見等ある方は、よろしくお願い致します。

17. 連絡事項

(高 山) 本事業の修正というお願いという形で、資料を配布させて頂いております。本事業の予算が想定した以上に集まり、うれしい悲鳴ではありますが、審議の際の予算と比べて予算が変わってきますので、事前に代わる方向性を説明させて頂ければと思います。予算が増える部分に関しましては、花火の数の増加、ポスターの増刷、同課の撮影箇所、方法の追加を予定しております。それ以上の余剰金に関しましては、尾道市へ寄付させて頂く形となっております。現在、目標220万円からまた150万円程プラスになって予算が370万円程となっておりますので、花火の数と、尾道市への寄付のバランスをとっていきたいと思いますので、ご確認の程宜しくお願い致します。

(中 司) 本年度11月3日から11月7日にかけて、横浜で世界大会が開催されます。それに伴いまして、多くの登録を要請されております。2020年度理事の皆様には、全員の登録を宜しくお願い致します。WEBでの開催も同時に行われます。参加しやすい環境となっておりますので宜しくお願い致します。次回上程締め切りは10月21日(水)となっておりますので宜しくお願い致します。

18. 監事講評

(中 谷) 皆様、長時間お疲れ様です。本日仮入会の方が、8名可決となりましたので、全員本入会して頂ける様、皆様全員でフォローして頂きたいと思います。防災事業に関してですが、これから学校に行つての授業が始まってくるので、よく練習しておいて子供たちにしっかりと防災を伝えて頂ければと思います。続きまして10月例会ですが、グループワークが25分と長い時間ありますので、難しい議論になって雑になら

第10回理事会 議事録

ない様、議論が止まっている場所には、委員会メンバーがファシリテーターにつく等で、うまく誘導して有意義な例会にして頂ければと思います。続きまして11月例会ですが、高橋委員長の思いが詰まった冷夏になると思いますので、間延びしない様しっかりと練習して、次年度の委員会に引き継げるよう、頑張って頂きたいと思ます。続きまして2020年代活動指針ですが、本日色々と意見が出たと思います。指針の中で、アンケートの結果を見ると、他の内容では賛成意見が90%以上ありますが、「背伸び」の部分は70%の賛成意見となっておりますので、もしかしたらどこか引っかかる部分があるのかなと思います。高山委員長の思いがあつてこのフレーズにしたと思いますが、もう少しキャッチーな部分があつてもいいと思いますので、参考にして頂ければと思います。続いて、豊かな人材育成事業ですが、まだまだ詰めないといけない部分が多いと思います。頂いた意見を参考にして審議までに、もっと内容を詰めて上程して頂ければと思います。続いて真のしあわせを知る経営者育成事業ですが、難しい中、色々な判断をして、こういう事業になったと思います。経緯はいろいろあると思いますが、一番には、メンバーの家族が喜んで頂ける様なものを、一生懸命考えて頂ければと思います。簡単では御座いますが、監事講評とさせていただきます。皆様お疲れ様でした。

19. 次回開催日の確認

(高橋建) 11月 6日(金) 19:00～

20. 閉会

21. 点鐘

第10回理事会 議事録

第10回理事会 議事録

議 長 加 度 亮 平 印

署名人 中 谷 純 也 印

作成者 藤 田 祐 輔